

「ヒト生命萌芽の分子機構の解明」に対するご協力をお願い

研究責任者 山田 満稔
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 産婦人科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2018 年 1 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日までの期間に加藤レディスクリニックにて生殖補助医療（体外受精・顕微授精）を行った方が対象になります。

2 研究課題名

承認番号 20241065

研究課題名 ヒト生命萌芽の分子機構の解明

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学医学部

産婦人科学教室

研究責任者

(職位) 専任講師 (氏名) 山田 満稔

共同研究機関

加藤レディスクリニック

研究責任者

(職位) 院長 (氏名) 加藤 恵一

4 本研究の目的、方法

本研究では受精機構の解明を行うことで将来的に生殖補助医療の発展に貢献することを目的としています。

タイムラプスインキュベーターは、インキュベーター内が小部屋に分けられており、培養している卵を一定時間ごと（当院では 6 分ごと）にカメラで撮影し、分割の様子をモニターで動画のように観察できる最新型の培養器です。この写真は外部のモニターで確認できるため、受精卵をインキュベーターの外に出すことなく成長を観察することが可能で、外気に触れることによる受精卵への負担を軽減することができます。本研究では、培養期間中に撮像される受精卵のタイムラプス画像

を用いて、受精現象における前核形成から胚発生にかけて詳細に解析を行い、受精機構の解明を目指します。

5 協力をお願いする内容

● 受精卵のタイムラプス画像データ

対象となる方の背景（年齢、診療記録、検査結果など、個人情報は除く）

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供は行いません

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、タイムラプス画像や情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

担当者：慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 助教 松沢 優一

メール：yuichi.z8@keio.jp

電話番号：慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 （03）-5363-3819

以上